

**第 60 回アジア開発銀行年次総会愛知・名古屋支援実行委員会**  
**第1回開催推進会議 開催結果**

1 開会

○大村会長 挨拶

皆さんこんにちは。愛知県知事の大村秀章です。第 60 回アジア開発銀行年次総会愛知・名古屋支援実行委員会第 1 回開催推進会議の開会にあたりまして会長としてご挨拶を申し上げます。

本日は年はじめのお忙しい中、ご出席をいただき誠にありがとうございます。また本日は、財務省から細田審議官、アジア開発銀行から高橋駐日代表にご臨席をいただいております。誠にありがとうございます。

さて、愛知県名古屋市では、2024 年 12 月に、年次総会の誘致を目指しまして、名古屋商工会議所、中部経済連合会、名古屋銀行協会とともに誘致推進協議会を設立し、地域一丸となって、誘致活動を展開いたしてまいりました。その結果、昨年 2 月に財務省から国内開催候補地として選定をいただきました。そして 5 月にイタリア・ミラノで開催された第 58 回のADB年次総会において、開催地として正式に決定されました。国内の開催は1966年の創立総会以降6ヶ所目での開催ということになりまして、愛知・名古屋では初めての開催となります。年次は 10 年おきに日本で開催しているということございまして、前回は 2017 年に第 50 回を横浜で、その前は 2007 年に京都、そして今回、第 60 回総会を名古屋で開催となります。開催決定を受けまして、会議支援や機運醸成に向けた取り組みなどの必要な準備を進めるため、昨年 7 月に経済団体・金融機関とともに支援実行委員会を設立いたしました。

ADB年次総会はアジア各国の財務大臣、中央銀行総裁をはじめ、約 5,000 人が一堂に会する大変大きな国際金融会議でございまして、開催に当たりましては参加者の送迎、宿泊、会場や関連施設の警備など、多くのジャンルの皆様方にお越しいただいておりますが、皆様のご協力が不可欠でございます。何卒よろしくお願い申し上げます。

本日立ち上げる開催推進会議は、皆様との円滑な連絡調整をすすめ、地域一丸となって取り組むための重要なものとなります。よろしくお願いいたします。

ADB年次総会は世界的にも注目度が高い会議であります。開催により大きな経済波及効果や、愛知・名古屋の国際的な知名度、都市ブランドの向上が期待されます。当地域とアジア各国の経済的な結びつきが強化される、またとない機会でもあります。

さらに、今年 9 月から 10 月に開催されます「アジア・アジアパラ競技大会」愛知・名古屋大会、そしてその 8 ヶ月後にADB総会が開催されるということでもあります。まさにアジア大会のアフターとなり、アジアや世界の交流拠点としてこの地域の機能が一層高まるものと考えております。

第 60 回ADB年次総会の成功に向けまして、皆様の一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げます。冒頭私からのあいさつとさせていただきます。何卒よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

## ○広沢会長代行 挨拶

皆様こんにちは。実行委員会会長代行を務めさせていただいております、名古屋市長の広沢一郎でございます。開会に当たりまして一言私からご挨拶を申し上げます。本日お集まりの皆様方には日頃から名古屋市政に格別のご支援、ご指導賜り誠にありがとうございます。また、実行委員会総会に引き続きご臨席をいただいております財務省の細田審議官を始め、来賓の皆様方にも御礼を申し上げます。

さて、こちらは今、大村知事からも話がありましたけれども、秋にアジア・アジアパラ競技大会がございます。また、5月には、アジア・オセアニア地域の消防幹部が一堂に会する国際会議であります、アジア消防長会議が開催され、当地域へアジアからの注目が高まる一年となる見込みでございます。その流れの中で、この地域に各国の財務大臣や中央銀行総裁等が一堂に会する、格式のある国際会議であるこのアジア開発銀行年次総会を開催できることを心から嬉しく思っております。

この年次総会は、熱田区の名古屋国際会議場をメイン会場として開催される予定となっております。国際会議場は現在、改修工事を行っておりまして、来年4月の利用開始を予定しているところでございます。改修工事が終わりました利用開始直後にこのADB年次総会を開催できるということで、装いを新たになった会場で各国からご来場される皆様をお迎えできるよう、名古屋市といたしましても着実に改修工事を進めてまいりたいと考えております。

この年次総会は、国内外から多くの参加者が見込まれる非常に大規模な国際会議でありまして、多数の参加者に名古屋での滞在を安全・快適に過ごしていただき、また、愛知・名古屋の魅力を楽しんでいただくことが、私たち地元にとって非常に重要であると考えております。

後ほど事務局から説明があると思いますが、円滑で快適な移動や滞在中のきめ細やかなおもてなし、そしてシティドレッシングなど歓迎ムードの創出、エクスカージョンなどを通じた地元の魅力発信など、皆様のご協力のもと、準備を進めてまいりたいと考えております。

また、地元の企業・団体の皆様、市民の皆様にもADBについて知っていただき、年次総会に関わっていただけるような取り組みも検討してまいりたいと考えております。

総会会場内で行う地元主催展示や、学生の皆様をはじめ市民の皆様方にボランティアとして総会の運営に携わっていただくなど、国際機関の活動に触れられるこの貴重な機会を企業・団体の皆様の交流機会の拡大や次世代育成につなげていければと考えております。

本番まで残り1年4ヶ月でございます。会議の安全な開催とその成功に向けて地域一丸となって開催支援や機運醸成などに努めて、まいります。皆様方には一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。

## ○財務省 細田審議官 来賓挨拶

財務省国際局でアジア開発銀行の担当審議官をしております細田でございます。本日はこのような機会を設けていただき、またお招きいただき、感謝申し上げます。

まず、来年5月にアジア開発銀行の第60回年次総会を、この名古屋で開催することをお引き受けいただきました愛知・名古屋の皆様方に改めて心より御礼申し上げます。本総会は、日本、アジア開発銀行、愛知県・名古屋市の皆様にとって大きな意義を有する会議だと考えております。

日本にとりましては ADB を通じ、アジア・太平洋地域の経済・社会の発展に貢献してきたこと、今後も、日本がアジア経済の発展に主体的に関与していく姿勢を発信する非常に大切な場だと考えております。また ADB や加盟国におきましては、ADB が設立以来、地域経済とともにアジア経済の発展に貢献してきたこと、また、国際社会における ADB のプレゼンスを高める非常に重要な場だと考えております。

そして、開催地の皆様にとっては、69 の加盟国・地域から財務大臣や中央銀行総裁など、関係者約 5,000 人が名古屋に一堂に会するこの場で、地域の魅力、地域経済の強みを世界に発信していただき、国際的な人的、経済的ネットワークを拡充する格好の機会であり、地域経済や観光分野をはじめとする幅広い分野への波及効果も考えられます。こうした効果は過去の ADB 総会の開催地においても実証されております。例えば 10 年前の横浜総会におきましては、ADB 総会を契機としてインドやモンゴルの都市との MOU などを締結したこともありますし、また、地元企業から ADB のプロジェクトに参画をしていただいておりますように、本総会がアジアで活躍する場を広げる機会になるのではないかと考えております。私ども財務省としても、国内外から参加される皆様にとって実り多い会議となりますよう、また、地域の魅力、強みがしっかり伝わるように関係団体の皆様と連携して準備を進めてまいりたいと思っております。そのためには、本日ご参集いただきました幅広い関係団体の皆様方のご支援、ご理解が不可欠であると考えております。

今後、ADB の役割や本総会の意義、また、期待される効果などについて、地域全体で理解を深めていただきながら、開催に向けた機運を一層高めていただきたいと思いますので、本日ご参集の皆様におかれましては、どうか今後とも開催へのご支援とご協力を賜りますよう改めてお願い申し上げます、本日のご挨拶とさせていただきます。

## 2 議題

### ○「アジア開発銀行について」アジア開発銀行 高橋駐日代表

皆様こんにちは、アジア開発銀行駐日代表の高橋と申します。まず、本日ご参集いただきました皆様に弊行から心より御礼申し上げます。日本で 10 年振りの ADB 年次総会開催に向けて、多方面でご協力をいただいていることにつきまして、深く感謝申し上げます。

先ほど財務省の細田審議官からもお話がありましたように、本総会は経済開発分野では国内最大級の国際会議でございます。皆様の地域の魅力や強みを世界に発信いただく絶好の機会としてぜひご活用いただければと思っております。今回初めて開催推進会議メンバーの皆様へお話をする機会をいただきましたので、まずは簡単に ADB のご紹介をさせていただきます。お手元にお配りしておりますパンフレットも後ほどご確認ください。

ADB は 1966 年に設立された国際開発機関でございます。本部はフィリピン・マニラにあります。加盟国は、現在 69 の国・地域、日本は設立以来最大の出資国であります。現在の総裁は、財務官を務めておりました神田真人で歴代の総裁はすべて日本人が務めています。職員数は約 4,300 名、3,000 名ほどが本部に在籍しており、その他の 1,000 名以上は 40 ヶ所以上の各国・各地域の現地事務所に勤務しています。

ADB の使命は、アジア・太平洋地域の経済成長と貧困削減を支援することです。一般の銀行と異なり、政府や公的機関、企業が進める開発プロジェクトに対して融資やグラント、技術協

力等をしております。なお、ADBは非常に強固な資本基盤を持っています。銀行ですので、資本市場で自立的に資金調達ができます。この点で、例えば国連のような加盟国政府の拠出金に頼る組織とは異なります。格付はAAAを維持し続けております。

加盟国 69 カ国のうち 50 カ国がアジア・太平洋地域内にありまして、そのほとんどに現地事務所を設けています。従いまして、支援する途上国政府と非常に緊密な関係を取りながら、何十年もの歳月をかけて築き上げた信頼関係を礎に業務を行っております。ですので、海外進出をこれから考えたいと思っている企業の皆様、それから途上国にリスクが高そうなので不安を感じるというような企業様にとりまして、非常に頼りにしていただけたと考えております。

次のページは、ADBの 2024 年の業務を国別とセクター別に示したものです。ADB の支援対象国は中国やインドなど人口・経済規模の大きい国から、太平洋をはじめとする小島嶼国や脆弱、紛争影響国まで多種多様です。また、ADB は「複雑な課題の解決をともに」というスローガンを掲げ、地域の発展に寄与しています。

年間コミットメント額は 2024 年で 243 億ドルでしたけれども、去年、2025 年はさらに増加し、284 億ドルとなる見込みです。

現在、業務の最大の重点分野の 1 つが民間セクター開発です。この民間セクター開発には、民間セクター向けの融資額を 2030 年までに年間 130 億ドルに拡大するという目標に加え、公共部門業務の 40%を民間セクター開発支援に充てるといった内容も含まれています。これは、例えば、途上国への民間投資を促進する法律の立案支援を行ったり、ガバナンスなどビジネス環境の整備を支援するような業務を指します。

次のページで、ADB の組織の全体像を示しております。総裁の上に位置する理事会と総務会がガバナンス機能を持っております。総務会は出資者であります 69 の加盟国の代表で構成されていますので、いわば一般企業の株主総会に相当します。代表は通常、財務大臣や中央銀行総裁になります。この総務会が年に 1 回開催する年次総会が、2027 年に愛知・名古屋で開催される ADB 年次総会になります。なお、理事会は、69 の国・地域から選出された 12 名で構成されておりまして、マニラに常駐し、執行役であるマネジメントの担当機関という位置付けで、企業の取締役会に相当するかと思います。

歴代の総裁は日本人と先ほど申し上げましたが日本人職員も 150 名ほどおります。国際機関の中ではおそらく最も日本人比率が高く、ほぼすべての部門に日本人の専門家が在籍し、局長・部門長レベルもおりますので、日本企業とのコラボレーションを今後さらに強化していきたいと考えております。

次のページに昨年と今年のADB年次総会の場所と総会のテーマ・スローガンを記しております。2024 年は、イタリア・ミラノ、今年はウズベキスタン・サマルカンド、基本的に毎年 5 月に開催しておりまして、2027 年はここ愛知・名古屋で開催させていただきます。

ADB の年次総会は、単なる会議にとどまらず、開催国・開催都市の文化を紹介するイベントも行われます。例えば、昨年、イタリア・ミラノではスカラ座を貸しきりにして、オペラ歌手が出演しましたし、また 2023 年の韓国・インチョンでは世界的に人気を博しているK-POPグループがパフォーマンスを披露していました。今年のウズベキスタンも、国を挙げてのおもてなしやパフォーマンスを披露いただく予定と聞いておりまして、2027 年の愛知・名古屋にも非常に期待が高まっています。加盟国関係者を中心に多くの方から、愛知・名古屋に関するお問い合わせ

合わせを既に頂戴しておりまして、世界から寄せられる期待の大きさを強く感じております。年次総会の成功には入念な準備はもちろん地元の皆様のご関心や熱意が重要ですので、ぜひ皆様のご協力をお願いしたいと思います。

最後のページに、ADB駐日代表事務所の情報発信サイトをご紹介します。ADB は国際機関ですので公用語は英語ですが、日本の皆様により身近に感じていただくために、日本語の情報発信をしております。facebook、X、Instagramがありますので、どうぞぜひQRコードをスキャンいただいて、フォローいただければ幸いです。

以上となりますが、今後とも、皆様の温かいご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。本日は、お時間をいただきまして、ありがとうございました。

以上